

## 第1章 平成21年度の事業報告(概要)

### 1) 臨床研修病院の研修プログラムに関する評価事業

臨床研修病院において社会の要請に応える適切な研修プログラムが作成され、プログラムとおりに研修が実施されているかを評価し、認定を行う。

	H20 年度まで	H21 年度	全体 (H21 年度末時点)
(1)受審申請数	79	23	102
(2)訪問調査実施数	67	15	82
(3)更新調査実施数	-	16	16
(4)再調査実施数	4	2	6
(5)認定証発行数	60	16	76

※平成22年3月1日発行まで

大学病院・臨床研修病院を対象に初回調査（訪問調査）が15病院、認定証有効期限満了に伴う2回目の調査（更新調査）が16病院、合計31病院における調査を実施した。評価を受けた病院の受け止めはほぼ良好である。

報告書のフィードバックに要した期間は、訪問調査日から平均31日であった。（最長45日、最短21日）。今年度も訪問調査から約45日で評価結果をフィードバックするという当初の計画をほぼ実行できたことになる。評価結果を迅速にフィードバックできることが、病院側の改善意欲を維持促進させ、臨床研修プログラムの質の向上を図る上での疑問点等の解決に効果的に役立てられると期待される。

### 2) 臨床研修病院の研修プログラムに関する人材育成事業（サーベイヤーの養成事業）

#### 臨床研修評価に必要な評価者(サーベイヤー)を養成する

##### サーベイヤー養成状況

- (1) サーベイヤー講習会の開催回数：1回
  - (2) サーベイヤー講習会の受講者数：25名
  - (3) サーベイヤー委嘱数：23名
  - (4) 訪問調査（31調査、再調査は含まない）におけるサーベイヤーの稼働状況  
サーベイヤー出勤数：延数171人（サーベイ担当93人、オブザーバー21人、OJT57人）
- ※ OJT：On the Job Training

当評価機構の正会員のうち評価事業に尽力できる者を対象にサーベイヤー講習会（新規サーベイヤー養成講習）を開催し、サーベイヤーの心得と役割および業務、ならびに評価体系に関する知識についての全課程を修了した者、また講師の資質を要する者をサーベイヤーとして委嘱した。

サーベイヤー委嘱後には、順次OJTとして訪問調査のサーベイヤーチームに同行することで実際の評価とサーベイヤー業務の流れを修得した。

サーベイヤーには講習会資料集、書面調査、臨床研修評価の目的や意義、携帯サイズのサーベイヤーハンドブックを配布した。

### 3) 臨床研修病院の研修プログラムに関する研究開発事業

臨床研修病院において必要とされるものは何か、臨床研修病院のあり方について研究開発し質の高い臨床研修の実現を支援する。

毎月実施されるワーキンググループ（兼評価委員会）において、個々の病院の評価結果と改善の事例を審議する過程で主に現行の評価体系についての課題を確認し、次期改訂版にむけての検討を行った。また、この間、訪問調査を担当したサーベイヤーからの意見、受審病院からの意見も随時確認した。改訂案は、ホームページへの掲載によりパブリックコメントを求め、内容を確認・反映し、改訂版 October2009として完成させた。

また、アウトカム評価を視野にQI（Quality Indicatorのリストアップ、評価項目のウエイト付け等の課題を検討し、より実質的で効果的な評価事業となるようすすめている。

### 4) 卒後臨床研修に関する情報収集及び情報提供事業

卒後臨床研修に関する情報の収集や評価に関する研究結果の公開などをホームページや資料等で行う。

メールマガジンとホームページ上の掲示板「研修評価の広場」にて評価機構の活動状況等を案内している。

今年度は書面調査October2009（臨床研修調査票、自己評価調査票《評価項目》）を全公開した。非会員病院、受審を検討中の病院も、また研修病院以外の病院・施設も、さらに一般にも、自由にダウンロード可能にし、広く臨床研修の重要性が周知されることが期待される。

卒後臨床研修に関する情報収集と提供については、今後当評価機構に期待される事業として組み込まれたものであるので、日本および海外の卒後臨床研修の現状の把握と質向上に向けて実践されることが期待される。